公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成26年6月23日

施 設 名 人権啓発センター	所管課 文化生活部人権課
----------------	--------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県人権啓発センター 指定期間 平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日			
施設所在地	高知市本町4丁目1番37号			
事業内容	1.施設利用に関する業務 ・施設利用の許可等 ・施設利用の許可の取消し等その他の利用の許可に関する業務 (施設:ホール、視聴覚室、図書資料室兼閲覧室) 2.ホール使用料の徴収に関する業務 3.施設および設備の維持・管理 清掃、警備、電気、設備の保守点検等			
施設内容	面積:丸ノ内ビル(3,453.4㎡)内4F~6F(1,443.81㎡) 施設:4F 視聴覚室(定員48人)(利用前日までに申請) 5F 図書資料室兼閲覧室 6F ホール(定員270名)(利用10日前までに申請) 開館時間:9:00~17:00 休館日:土、日、祝祭日及び年末年始			
職員体制	常勤職員:7人 非常勤職員:5人 臨時職員:1人 合計:13人 「職員数はH25年4月1日現在」			

2 収支の状況 単位:千円

<u> </u>	<u> </u>	大 次				
		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)		
	県支出金	10,516	10,428	11,277		
収入	使用料•手数料	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	収入計 (a)	10,516	10,428	11,277		
支出	事業費	0	0	0		
	管理運営費	10,203	10,120	10,941		
	人件費	313	308	336		
	その他	0	0	0		
	支出計 (b)	10,516	10,428	11,277		
収3	支差額 (a)-(b)	0	0	0		

3 利用状況

	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	
①年間利用者数(単位:人)	18,492	17,677	18,000	
	○利用者要望等は直接受け ○6階ホールの避難誘導灯			

4 平成25年度業務評価

	状	況	説	明
・消防計画による消防訓練を ・個人情報の保護についてが 等を設けるとともに、これに基 ・再生紙購入等「高知県グリ る。 ・片面使用コピー用紙の裏面 ・平成23年度から「高知県庁	と実施しまでは、 まづき購 を境で で境で	ている。 財)高知! 近正に執 入基本 するなシメン	平成2 県行した どれる という	25年度は、平成25年10月に実施。 18年度は、平成25年10月に実施。 1888年ンター個人情報保護要綱 いる。 こ基づく環境物品購入を実施している。 学削減に努めている。 テム」に取組んでいる。
技術、AED操作を習得している。 いる。 また、日々の点検確認やAE ・ホール利用についてはホー ついては随時更新するなど	おり、セ EDの電 -ムペー 利用者	ンターデ 池交換 -ジ上に へのサー	可用者 も行われ 申請書 ービスカ	の緊急時に対応できるよう努めてれている。 計でいる。 計や予約状況を掲載。予約状況に が窺える。
平成23年月 6Fホール 19,870人(15 視聴覚室 673人(30) ライブラリー 520人 視聴覚室は年々利用者増	度 8回) 回) となり、	16,9 9 5 利用案I	57人(1 975人(4 60人 内等の	
の負担金(共有部分建物修) ・県より収納委託を受けてい 昨年と比較して77千円の減り	繕費)かる施設を なとなっ	ぶ少し 使用料↓ ないる。	たことに こつい (ホール	による。 ては、ホール利用の減少に伴い、
な広告の継続により一定数点が必要である。 ・施設管理においては丸ノや連携をとりながら、仕様書どされては、高圧ユニット取替など、大規模ななった。 ・利用者へのサービスについきており、センターは要望等は、意見箱を設置し、いただ誘導灯不調への対応等を行以上のことから、おおむねが必要である。	が保たれたが、アゼカの大学にある。 アゼカの 中等 はまたていた でまたてい	れたが、、 管務が開発 関係が開発 では でいた。 である。	ホールで行器へ、までいるれて、まなり、なっている。	については、新たな利用者の開拓 (社福)高知県社会福祉協議会と いた。 反替、エレベーターメインインバータ 育部分の建物修繕費は出費増と ター職員等に直接対面で行われて 体制をとっている。平成25年度から ヤレスマイクの周波数変更や避難
	・消防計画による消ににより消ににより消ににより消ににより消ににより消ににより消ににより消に	・消防計画による消防訓練を実施し、値人情報の保護について基づき遊り、一個人情報の保護について基づき遊り、一月高のとともに、これに基づき選手を設けるとともに、これに基づき選手を設けるとともに、これに基づき選手を設けるとともに、これに基づき選手を設ける。・片成23年度から「高知県庁での。・中の人名を設する。・片の人名を設する。・方の人名を設する。・方の人の人のと思われる。 利用人員(利用回数)の年度推移であると思われる。 利用人員(利用回数)の年度推移であると思われる。 利用人員(利用回数)の年度推移であると思われる。 利用人員(利用回数)の年度推移であると思われる。 利用人員(利用回数)の年度推移であると思われる。 ・本ール利用についてはを定期的に利用している場ををにあり、673人(30回)ライブラリー 520人 視聴覚室 673人(30回)ライブラリー 520人 視聴覚をと思われる。 ・昨年と比較して88千円を修るをは、対りのである。・・昨年と比較して77千円の減収とないで、大切、中で成24年度2,402千円、平成24年度2,402千円、平成24年度2,402千円、平成25年度である。・・施設者により、たけは、複なとのである。・・施設者により、たけば、複なとのである。・・・カーには、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	・消防計画による消防訓練を実施している。 ・個人情報の保護については、(公財)高知!等を設けるとともに、これに基づき適正に基本する。 ・再生紙購入等「高知県グリーン購入基本する。 ・片面使用コピー用紙の裏面を使用するな・平成23年度カら「高知県庁レルの管理者者であし、平成23年度からAEDを設置、職員は「牧け技術、AED操作を習得しており、センター科いる。また、日々の点検確認やAEDの電池交換・ホール利用についてはホームページ上については随時更に利用している団体が複数のと思われる。 利用人員(利用回数)の年度推移平成23年度6Fホール 19,870人(158回) 16,9視聴覚室 673人(30回) ライブラリー 520人 15視聴覚室は年々利用者増となり、大きなら。・昨年と比較して88千円支出が減少している。の負担金(共有部分建物修繕費)が減少し・県より収納委託を受けている施設使用料に昨年と比較して77千円の減収となっている。平成24年度2,402千円、平成25年度2,325 1施設利用者(回)数については視聴覚室、な広告の継続により一定数が保たれたが、必要である。・施設利用者(回)数については視聴覚室、な広告の継続により一定数が保たれたが、高圧気の推っといる。・利用者へのサービスについては、高圧気の背限によいた。・利用者へのサービスについては、要望等がは、意見箱を設置し、いただいたた意見がより、おおり、なただいただいただいただいたが、まずには、場別不調への対応等を行っている。以上のことから、おおむね仕様書の内容と	・片面使用コピー用紙の裏面を使用するなど経費・平成23年度から「高知県庁環境マネジメントシス・地震対策マニュアルを、ビルの管理者である(社し、平成24年9月に作成。 ・平成18年度からAEDを設置、職員は「救命教急技術、AED操作を習得しており、センター利用者いる。また、日々の点検確認やAEDの電池交換も行わ・ホール利用についてはホームページ上に申請書ついては随時更新するなど利用者へのサービスス・会場を定期的に利用している団体が複数あり、利のと思われる。 利用人員(利用回数)の年度推移平成23年度 平成23年度 平成23年度

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの